

地方創生推進交付金事業の状況

既存ストックの活用による地方暮らしの推進

事業概要

人口減少や住宅・店舗等の郊外立地による空き家・空き店舗の増加、まちなかの低密度化といった課題解決のため、子育て世帯を主なターゲットとし、空き家・空き店舗等の既存ストックを有効活用しながら、雇用の創出や住まいに対する支援を含めた移住・定住促進策を講じるとともに、コンパクトなまちづくりに関する計画を策定し、持続可能なまちの形成を目指す。

平成30年度の実施内容

- 地方暮らし情報 P R
 - 移住相談会への出展
 - 雑誌への広告掲載
 - パンフレットの作成
- 地方暮らし体験事業
 - 移住モニターツアーの実施
 - 桐生暮らし体験
 - 移住コンシェルジュによるサポート
- 地方暮らし支援事業
 - 「移住者ミーティング」の開催
- 職・住支援事業
 - インキュベーションオフィス運営事業
 - 小規模ビジネス育成事業
 - 講演会やスキルアップ研修等の実施
 - 創業チャレンジ支援事業
 - 創業時に必要な事業所改修費用、設備、備品等に要する経費の一部を補助
- まちの活力創出事業
 - 商店街活性化支援事業
 - 商店街団体等が実施する各種事業に対する補助
 - コンパクトシティ計画の立案
 - 策定支援業務委託（外部人材招聘 等）

KPI等を踏まえた今後の改善点・見直しの方向性

<定住促進事業>

空き家や空き地を提供したい方、活用したい方の双方に、空き家・空き地バンクをはじめとする市の制度周知を図りながら、利活用についての認識を深め、移住・定住へとつながる効果的な P R 等を行ってまいります。

<創業者創出事業>

本市の創業者創出数については、群馬県内でも高崎、前橋に次いで多く、創業支援体制については、国・県などから高く評価されていることから、引き続き産学官民の連携による地域一体となった創業支援を行ってまいります。

<立地適正化計画策定・推進事業>

都市機能誘導区域への都市機能及び居住の誘導、居住誘導区域への居住の誘導を図るため、都市機能の集積による拠点地域の魅力の向上や公共交通の利便性向上等を図り、「まちなかに住みたい」「まちなかに施設を設けたい」と魅力を感じるような施策を検討してまいります。

	決算額 (千円)	交付対象事業額 (千円)
H28年度	709	712
H29年度	27,939	33,435
H30年度	20,872	26,981

「インキュベーション
オフィス（東武ビル）」



「桐生暮らし体験ツアー」



「移住相談会」



「コンパクトシティ計画の策定」

KPI(重要業績評価指標)		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
社会増減数(人減)	目標値	588	578	521	464
	実績値	(基準)	↑ 485	↓ 528	↓ 536
新規創業者数(人) ※交付金事業による人数	目標値	13	14	16	18
	実績値	(基準)	↑ 19	↑ 42	↑ 28
空き家・ 空き地バンク成約件数 (件)	目標値	18	20	23	27
	実績値	(基準)	↑ 37	↑ 46	↑ 44

ヘリテージツーリズムによる桐生 & 足利の広域周遊観光促進事業『東武グループ連携～Happy Happy プロジェクト』

事業概要

首都圏や海外からの誘客を強化し、交流人口の拡大を図るため、東武グループ（東武鉄道・東武トップツアーズ）と連携しながら、桐生市と足利市の有する「日本遺産（Japan Heritage）」を核としたヘリテージツーリズムによる広域周遊観光促進事業を行う。

【両市の日本遺産】

○桐生市：『かかあ天下—ぐんまの絹物語—』

構成資産：白瀧神社、旧模範工場桐生糸合資会社事務所棟、桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区、後藤織物、織物参考館“紫”、桐生織物会館旧館

○足利市：『近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—』

構成資産：史跡足利学校

平成30年度の実施内容

1. 日本遺産周遊まちなかバス運行事業（桐生市のみ）
産学官連携により開発した、低速電動コミュニティーバス（MAYU）を桐生市内にある日本遺産の構成資産や絹遺産を周遊する定期コース等を設け、観光案内を行いながら運行する。また、本事業を通じ、MAYUを広くPRすることにより、バスの製造の受注を助長し、両市の部品メーカーを活性化させる。
2. 観光ガイド養成事業
多言語に対応したまち歩き観光ガイドを養成するため、両市周遊を促す観光案内を提供できるよう各種研修を行うほか、地域住民等の観光振興に向けた機運を醸成するため、市民向け観光講座を実施する。
3. ヘリテージツーリズム促進ファムトリップ事業
国内外の旅行エージェント（ブローカー）等を招聘し、両市の日本遺産を中心に観光周遊プランを紹介し、旅行商品の造成を図る。
4. 海外向け海外PRPV制作及び映像による情報発信事業
アジアや欧米等を中心に、プロモーション映像の放映やテレビ局タイアップ企画等を行うほか、YouTube等の動画配信サイトへ掲載する。
5. 郷土伝統芸能八木節の上演事業
両市共通の郷土芸能である【八木節】の上演を市内外で行い、新たな観光資源を創造する。
6. 東武鉄道連携インバウンド向け企画切符支援事業
両市を周遊できる観光コースの定着化を図るため、切符代、宿泊代、体験料等をパッケージ化したプレミアム切符を企画する。
7. 両市周遊化促進パンフレット作成事業
地球の歩き方等の専門誌により両市周遊を促すパンフレットを多言語で制作する。

KPI等を踏まえた今後の改善点・見直しの方向性

両市の連携による周遊観光という新しい視点において各事業を推進したことにより、全体的な効果を測るKPI「観光入込客数は」増加傾向にある。そのため、国内外への情報発信を重点的にしながら、東武鉄道との連携事業のほか、旅行エージェント（ブローカー）等を招聘するなど、旅行商品の造成を促進する取組を効果的に実施することで、更なる観光入込客数の増加に繋げ、当該旅行商品の販売実績を伸ばすとともに、電動アシスト付自転車の利用件数を増加させるものとする。

国内外の旅行エージェント（ブローカー）等の招聘



	決算額 (千円)	交付対象事業額 (千円)
H28年度	327(175)	300(150)
H29年度	21,660(12,584)	23,500(13,500)
H30年度	24,519(13,996)	25,500(14,500)
R元年度		30,500(17,500)

※（）内は桐生市分の事業費



アニメCM「ヒトキ桐生足利」



MAYUを活用した観光案内

インバウンド向け観光ガイドブック

KPI(重要業績評価指標)		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度
観光入込客数(外国人含む)(千人) ※桐生市と足利市の観光客入込客数の合計(1～12月)	目標値		7,504	7,603	7,702	7,801	7,900
	実績値	7,405 (基準)	↑ 8,413 (桐生市: 4,298 足利市: 4,115)	↑ 8,834 (桐生市: 4,078 足利市: 4,756)	↑ 9,379 (桐生市: 4,295 足利市: 5,084)		
東武鉄道新桐生駅電動アシスト付自転車の利用件数(人)	目標値	200 (基準)	210	250	310	390	490
	実績値		↑ 238	↓ 215	↓ 214		
桐生足利周遊観光旅行商品の販売実績(人)	目標値	0 (基準)	100	250	450	700	1,000
	実績値		↑ 815	↑ 362	↓ 449		

赤城山観光振興のためのD M O 振興事業

事業概要

赤城山山頂を中心とする豊かな自然環境や観光農園などの体験型観光資源、都心部から約2時間ほどで到着可能な立地条件を活かし、国が進める日本版D M O組織を中心とした観光地域づくりを進めるため、赤城山をフィールドとして環境活動を行う「特定非営利活動法人 赤城自然塾」を中心に、総合的な観光方針や共通の課題解決などを行う産官学連携体である「赤城山ツーリズム地元推進協議会」や地域関係者との連携を図りながら、地域資源を活用した多種多様なプログラムを作り、週末型・目的志向の体験型ツーリズムを確立するとともに、ブランドイメージの構築や旅行商品企画、インバウンド対策などを行う。

平成30年度の実施内容

【桐生市分交付対象事業】

- ①各種パンフレットの作成
 - ②モニターツアーの実施
- ・黒保根 お正月体験ツアー 等

【前橋市との連携事業】

1. DMO実施
 - (1) DMO事業のマーケティングやマネジメント等の実施
 - (2) 観光メニューの開発造成・実施
 - (3) 地元住民ガイドのスキルアップ教育等の実施
 - (4) 自然体験、農村体験など観光資源に応じた各種パンフレットを作成
2. 多機能ポータルサイト運営・管理
DMO事業の国内外への広報活動

K P I 等を踏まえた今後の改善点・見直しの方向性

「赤城山大洞地区 観光客数」及び「赤城温泉郷 入湯者数」について、猛暑の影響や休館中の旅館があったことなどから、目標の達成には至らなかった。
今後については、広域的なサイクルイベントの開催や地域資源を活用した新たな体験メニューの創設などにより、観光入込客数の増加を図る。
桐生市実施分のモニターツアーに関しては、ある程度の参加はあるものの募集定員には達していないことから、地元事業者・団体等と連携して広報や体験メニューをさらに強化して継続していく。

赤城山ツーリズムエリア



赤城山情報誌「AKAGIFT」による黒保根町の特集



モニターツアーのチラシ

	決算額 (千円)	交付対象事業額 (千円)
H28年度	5,440(0)	5,349(0)
H29年度	19,175(2,000)	18,960(2,000)
H30年度	18,469(2,000)	18,460(2,000)
R元年度		18,736(2,000)

※ () 内は桐生市分の事業費

KPI(重要業績評価指標)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度
赤城山大洞 地区 観光 客数(人)	目標値 540,000 (基準)	実績値 549,485 ↑	548,000 ↓	544,092 ↓	558,000	563,000
赤城温泉郷 入湯者数 (人)	目標値 18,100 (基準)	実績値 16,190 ↓	18,500 ↓	15,315 ↓	21,500	22,100
多機能ポ ータルサ イト アクセ ス数 (件)	目標値 0 (基準)	実績値 未開設	30,000 ↑	45,000 ↑	55,000	65,000